

科目名称	論理学	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	森川 孝吉	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

仲間内だけの会話にとどまらず、我々が趣味や意見、文化の異なる人たちとの意思疎通を真剣に考え始めると、そうした人たちとも共通する施行規則を理解しておくことは必要不可欠である。またフォーマルな場での話し方、報告書・論文の書き方にも「相手が理解しやすい＝論理的な」話し方、書き方の工夫が求められる。本講義ではその基礎の習得を目指す。

【2】学習目標

1. 論理的思考及びその言語的表現について学ぶ。
2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	記号を交えた論理的思考 (1) 命題と結合子	講義
2	記号を交えた論理的思考 (2) 恒真命題と充足可能命題の違い	講義
3	記号を交えた論理的思考 (3) 推理とは？	講義
4	記号を交えた論理的思考 (4) 真理値割当法による妥当な推理の判定(1)	講義
5	記号を交えた論理的思考 (5) 真理値割当法による妥当な推理の判定(2)	講義
6	命題論理から述語論理へ (1)	講義
7	命題論理から述語論理へ (2)	講義
8	必要条件と十分条件	講義
9	Toulmin による論理学の改革	講義
10	演繹法と帰納法の違い	講義
11	論理的な発想法(1)	講義
12	論理的な発想法(2)	講義
13	論理的文章の作成法	講義
14	振り返り	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、小論文と筆記試験（ペーパーテスト）の結果をほぼ同一の比率で評価し総合する。

【6】教科書

実践ロジカルシンキング入門

【7】参考書

飯田賢一：論理学の基礎. 昭和堂
 横山雅彦：高校生のための論理思考トレーニング. 筑摩書房
 ウイルバック・ガム：哲学大図鑑. 三省堂
 野矢茂樹：入門！論理学. 中公新書
 丹治信治：論理学入門. ちくま学芸文庫

【8】受講生へのメッセージ

理解度を考慮して、内容に一部変更を加えることがある。毎回の授業の最後の数分間を使い、その日の授業について簡易レポートを課す。

【5】評価方法

教場試験の結果に、課題レポートの出来を加点評価として加え総合的に評価する。